

## SUNSHINE ENGLISH COURSE 1, 2, 3 ルーブリックについて

ルーブリック(Rubric)とは、学習到達状況を評価するために、評価する項目(評価規準)と達成度を具体的な姿で記述した尺度(評価基準)を表にしたものです。指導者は生徒の学習活動を観察し、ルーブリックに沿って評価します。

「SUNSHINE ENGLISH COURSE 1, 2, 3 ルーブリック」では、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと(やり取り)」、「話すこと(発表)」、「書くこと」の5領域を表の左側に縦に配置し、それぞれに何ができればよいのか(評価規準)を記述しました。さらにそれらを「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に分け、細かく評価規準を記述しました。そして、その評価規準がどの程度達成されているかを判断する尺度として、具体的な生徒の姿を段階的にA, B, Cで記述しました。また、どの領域のどの観点をどの活動で評価すればよいのかわかるように、S, Tなどの記号(下記【ルーブリック表内の用語】参照)で記し、評価の対象とする主な活動については、記号に下線を引いてあります。このルーブリックは、PROGRAMごとに1シートずつ準備されています。

外国語の評価は、他教科同様、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点別学習状況をそれぞれA, B, Cで示します。そしてそれらを総合して評定(5, 4, 3, 2, 1)を出します。このような作業の助けとなるように、「ルーブリック用生徒名簿」が別に用意されていますので、こちらもあわせてご活用ください。

### 【ルーブリック表内の用語】

SやTはSUNSHINE ENGLISH COURSE 1, 2, 3の中にある活動コーナー名の略称です。これらの活動が各領域、観点別の評価の対象となります。

S … Scenes	I … Interact
T … Think	R … Retell

## 【SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 単元の構成】

SUNSHINE ENGLISH COURSE ではどの単元も Scenes ではじまります。これは、その単元の基礎・基本を習得できる内容となっており、マンガ形式の短い対話と Listen(聞く活動)、Speak & Write(話す活動、書く活動)で構成されています。新しい表現には Scenes でまず触れることになります。

その後、Think で本文を読んだり Q&A に取り組んだりすることで題材への理解を深め、読む力と考える力を鍛えていきます。

十分に本文を理解したあと、Retell で Think の本文内容を自分のことばで伝え合う活動を行います。写真や絵、語句の中から自分で言えそうな内容を選んで話す活動を行うことで、理解力と表現力を高めます。

単元最後の Interact では、与えられた場面の中で、その課で学んできた表現を使って、即興のコミュニケーション活動を行う流れとなっています。理由や具体的な内容とともに自分の考えを話したり書いたりする中で、発話力や判断力を身につけます。

